

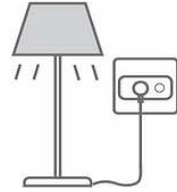
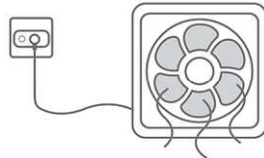
見える化
の次は

MORITO CO₂ウォッチャー スマートコンセント連動オプション

連携
自動化

スマートコンセント連動オプションとは

Wi-Fi 機能付きのコンセントを使うことで、コンセントに繋がっている換気扇、送風機、照明などの電気設備のオンオフを自動化することができます。(物理スイッチの電気設備のみ対応)
MORITO CO₂ウォッチャーでは、このコンセントのオンオフの制御を、CO₂濃度の値によって行うことができます。



CO₂濃度によるオンオフの仕組み

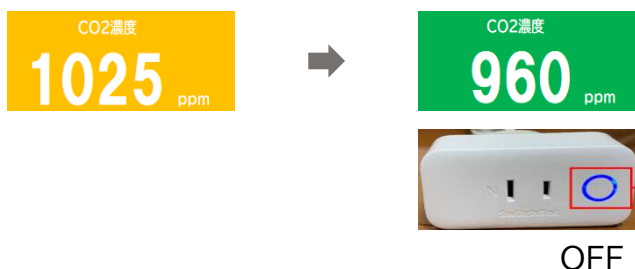
★MORITO CO₂ウォッチャーでは、ユーザーにて設定された「CO₂濃度の警告値」を閾値とします。計測結果が、閾値を超えた場合、スマートコンセントをオンにします。(5分後にオフにします)



★計測結果が、連続して閾値を超えた場合は、前回のオンの時間+5分間、オンの状態にします。換気状況により、5分、10分、15分と、オンの状態をコントロールします



★計測結果が、閾値を下回った場合は、スマートコンセントをオフにします。



※スマートLEDで、点灯や変色によるさりげないアラートも可



MORITO CO₂ウォッチャー スマートコンセント連動機能 設定手順

まず準備

- スマートコンセント連動オプションのご契約と、スマートコンセントの購入は済みですか？
- スマートコンセントを接続する「元コンセント」の確保はできていますか？
- スマートコンセントを接続する空間のWi-Fi環境は整備できていますか？

2021年3月1日
リリース

スマートコンセントがお手元に届いたら

①スマートフォンでアプリをダウンロード



初回起動する際、SwitchBot アカウントの登録が必要です。アプリの指示に沿って、「登録」画面でメールアドレスとパスワードを入力して新しいSwitchBotアカウントを作成してください。

②クイックスタートを読みながら、スマートコンセントを初期設定

1.スマートコンセントをペアリング状態にします。



2.アプリから接続し、室内のWi-Fi環境とのペアリングを行います。

③ 「SwitchBot」アプリを起動し、「画面左上のメニュー」→「デバイスの追加」→「Plug」→「次へ」を順番にタップします。
④ 画面の提示で手動的に「SwitchBot-〇〇〇〇」というネットワークに接続します。
⑤ アプリに戻り、自動的にWi-Fi設定を行います。ご自宅のWi-Fiルーター情報を入力します。
(Wi-Fiは2.4GHzしかご利用できません。)

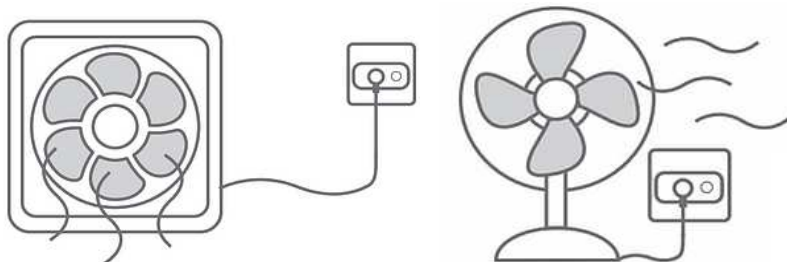
※注意事項：
Android端末の場合:Wi-Fiに繋がったら、「インターネットに接続していません。接続を維持しますか?」という提示が出る場合、「はい」をタップします。
iOS端末の場合:「インターネット未接続」という提示が出る場合、その際に無視してください。

⑥ 接続完了したら、紫色に点灯する場合、プラグはオンになっています。青色に点灯する場合、プラグはオフになっています。電源ボタンを押すと、ON/OFFは切り替えができます。

動作：
電源ボタンを押す：ON/OFFの切り替え
電源ボタンを長押し：初期化/ペアリング状態

使用可能な家電製品例及びワット数（参考値）
コーヒーマーカー：640W
デスクライト：188W
加湿器：208W
トースター：680W

送風機や換気扇などの設備・機器に接続して使用！



- ※設備・機器は、物理スイッチ(オンの状態を維持できる機器)のものをご用意ください。
- ※お届けするスマートコンセントの本体に、反応するセンサーの識別値が記載されています。識別値は、CO₂ウォッチャーメイン機能の「設定」で確認することができます。